

熊本県天草市牛深漁港 PR資料

牛深地区の概要

【地域の概要】

- 熊本県南西部 天草諸島の中心部である**天草市**の**最南端**に位置。
熊本市から車で3時間、鹿児島県長島町の蔵之元港とはフェリーで結ばれ、**天草市の南の玄関口**（年間約16 万人が往来、鹿児島空港から2.5時間）。
- 中継寄港地として栄え、**牛深ハイヤ節**（ハイヤ系民謡の源流）が有名。
- 豊かな水産資源を活かした**漁業**や温暖な気候を生かした**農業**を主として発展。
雲仙天草国立公園の自然景観、崎津集落（世界遺産登録）にも近く、多くの地域資源に恵まれている。
- 牛深地区※の人口は、約1.1万人であり、この15年間で約5千人（約32%）が減少。高齢化が進行。
※天草市は平成18年に二市八町が合併して成立した市で、牛深地区は合併前の牛深市に相当。

【漁業の概要】

- 古くはまき網漁の水揚げ基地として栄え、県下最大の漁港であった。
- 現在の漁業：**棒受網**や一本釣り、建網、タコツボ、潜り漁、鯛やブリなどの**養殖**
水産加工業：**雑節**（さば節、いわし節など鯉節以外の節）の**生産高**は**日本一**
- 資源の減少、魚価の低迷、漁業資機材等の経費の高騰により近年漁業収入は低下、後継者不足に。
- 平成17年に**漁協**を**合併**、平成23年に台場地区から**後浜地区**へと漁協の**事務所を移転**。
台場地区に残存する**旧漁協荷さばき所**は**老朽化**が進むが、解体費用の捻出のめどがつかず、現状維持。
（毎年占用料を漁港管理者である熊本県に支払っている状態）



牛深ハイヤ節、牛深ハイヤ踊り

「牛深ハイヤ節」をルーツとするハイヤ系民謡は、牛深から長崎、瀬戸内海を経由して大阪へ、北前船により新潟や北海道へと、航路上の各地の港に伝わり歌い継がれ、各地域で様々なアレンジが加わり根付いていった。佐渡おけさや阿波踊りはその代表的なものとなっている。

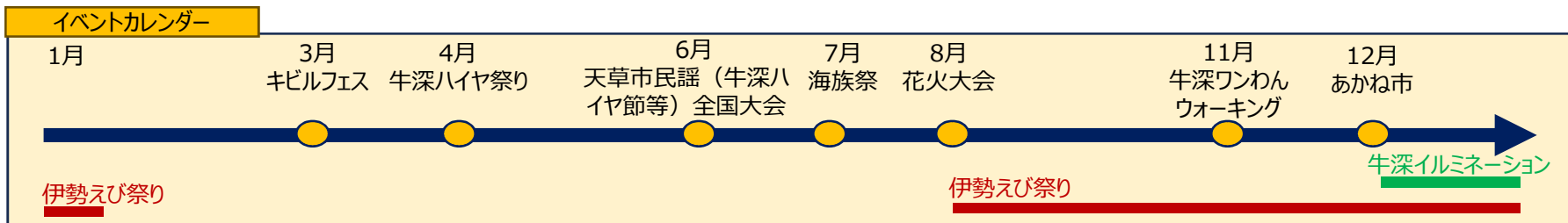
牛深ハイヤ踊りは、魯こぎや網ひき等の動作を含み、漁業の町ならではの踊りである。4月にある牛深ハイヤ祭りでは、総踊りも行われる。



写真：旧漁協荷さばき所

【観光の概要】

- 海の透明度の高さが有名で、夏季には地区の3つの海水浴場（茂串・魚貫崎・砂月）がにぎわう。
- アクティビティ：牛深海域公園グラスボート（昭和45年に日本で初の海中公園に選定）、釣り（遊漁船や瀬渡し）、マリンレジャー（ダイビングやカヤック等）
施設：牛深ハイヤ大橋（レンゾ・ピアノ設計。新熊本100景）、うしぶか海彩館（フェリーの発着所、道の駅・海の駅）
- イベント：1年を通じてイベント多数。牛深ハイヤ祭り（4月）、牛深あかね市（12月）は約3万人規模
- その他：崎津集落（世界遺産）は牛深から40分で連携の可能性有。
国内大型客船の停泊実績あり（牛深港沖）



写真：牛深ハイヤ大橋



写真：うしぶか海彩館



写真：牛深ハイヤ祭り

【観光の概要（つづき）】

○天草市内では、牛深地区の入込観光客数（H29）は本渡（86万人）、有明（49万人）に次いで3番目（41万人）であるが、宿泊者数（R3）は1.5万人であり、本渡（13万人）の約11.5%、天草（2.8万人）の51%であり、相対的に**宿泊者数が少ない**。



観光客数		H29	R3
本渡	宿泊客数	148,505	128,926
	日帰り客数	708,933	—
	総入込客数	857,438	—
牛深	宿泊客数	20,066	14,561
	日帰り客数	392,356	—
	総入込客数	412,422	—
有明	宿泊客数	6,414	1,022
	日帰り客数	480,917	—
	総入込客数	487,331	—
御所浦	宿泊客数	6,013	1,844
	日帰り客数	18,358	—
	総入込客数	24,371	—
倉岳	宿泊客数	1,320	946
	日帰り客数	66,139	—
	総入込客数	67,459	—
栖本	宿泊客数	2,679	1,099
	日帰り客数	64,756	—
	総入込客数	67,435	—
新和	宿泊客数	4,884	4,418
	日帰り客数	68,023	—
	総入込客数	72,907	—
五和	宿泊客数	6,087	5,482
	日帰り客数	269,992	—
	総入込客数	276,079	—
天草	宿泊客数	55,914	28,412
	日帰り客数	183,489	—
	総入込客数	239,403	—
河浦	宿泊客数	7,889	5,103
	日帰り客数	182,774	—
	総入込客数	190,663	—
市合計	宿泊客数	259,771	191,813
	日帰り客数	2,435,737	—
	総入込客数	2,695,508	—

出典：天草市市有財産活用サイト“財活あまくさ”より
<https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/shiyuzaisan/default.html>

【地域経済】

- 天草市で事業所数・従業者数が多いのは卸売業・小売業で、特に従業者数が多いのは飲食料品小売業である。
- 製造業、宿泊業・飲食サービス業においても、飲食関係が多い。
- 地区別にみると、本土地区に多くの民営事業所が集中しており、従業者数も多い。

天草市 産業別民営事業所数及び男女別従業者数（R3経済センサス）

産 業 中 分 類	事業所数	従業者数		
			男	女
AR 全産業（S 公務を除く）	4,345	28,150	14,091	13,629
A 農業，林業	47	371	295	76
01 農業	45	290	221	69
02 林業	2	81	74	7
B 漁業	45	443	336	107
03 漁業（水産養殖業を除く）	6	34	32	2
04 水産養殖業	39	409	304	105
C 鉱業，採石業，砂利採取業	1	7	7	-
D 建設業	422	2,594	2,200	394
E 製造業	273	2,631	1,453	1,178
F 電気・ガス・熱供給・水道業	12	125	108	17
G 情報通信業	13	97	69	28
H 運輸業，郵便業	106	1,163	984	179
I 卸売業，小売業	1,250	6,273	3,290	2,932
J 金融業，保険業	62	564	230	334
K 不動産業，物品賃貸業	175	337	185	152
L 学術研究，専門・技術サービス業	131	468	296	172
M 宿泊業，飲食サービス業	441	2,067	792	1,275
N 生活関連サービス業，娯楽業	413	1,012	455	557
O 教育，学習支援業	72	226	94	132
P 医療，福祉	408	7,686	1,848	5,459
Q 複合サービス事業	89	713	485	228
R サービス業（他に分類されないもの）	385	1,373	964	409

天草市 地区別民営事業所数及び男女別従業者数（R3経済センサス）

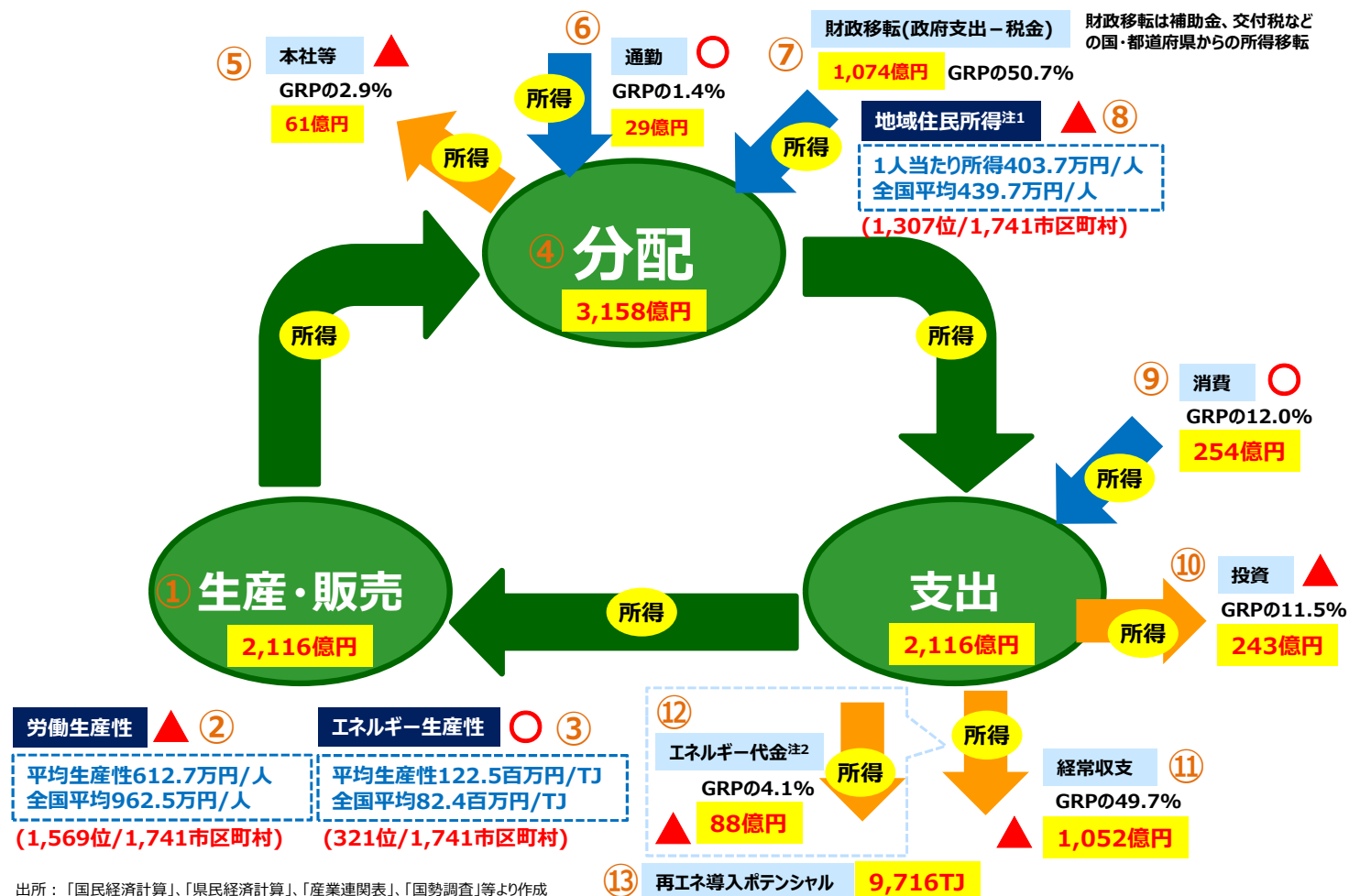
	事業所数	従業者数	※（男女不詳+430人）	
			男	女
本渡	2,289	16,275	8,096	7,758
牛深	676	3,700	1,897	1,801
有明	199	1,354	647	707
御所浦	150	633	381	252
倉岳	114	606	264	342
栖本	111	618	364	254
新和	117	649	348	297
五和	321	2,474	1,153	1,321
天草	165	753	385	365
河浦	203	1,088	556	532
合計	4,345	28,150	14,091	13,629

〔特に従業者が多い事業所〕

09_食料品製造業	104	1,005	513	492
58_飲食料品小売業	375	2,101	752	1,343
60_その他の小売業	369	1,648	939	706
75_宿泊業	84	717	240	477
76_飲食店	325	1,130	482	648

【地域経済】

- 天草市の所得循環構造においては、生産・販売は、全体で2,116億円の収入があり、そのうち労働生産性は612.7万円/人と全国平均と比較すると低くなっている。全体で3,158億円の収入があり、天草市の地域住民所得は1人あたり403.7万円と全国平均より低い結果となっている。支出は、全体で2,116億円であり、そのうち天草市内での消費は254億円の収入がある一方で、投資、経常収支、エネルギー代金は天草市以外に多くの支出が発生していることがわかる。



注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得(=雇用者所得+その他所得)を意味する。

注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(=非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる

[地域經濟]

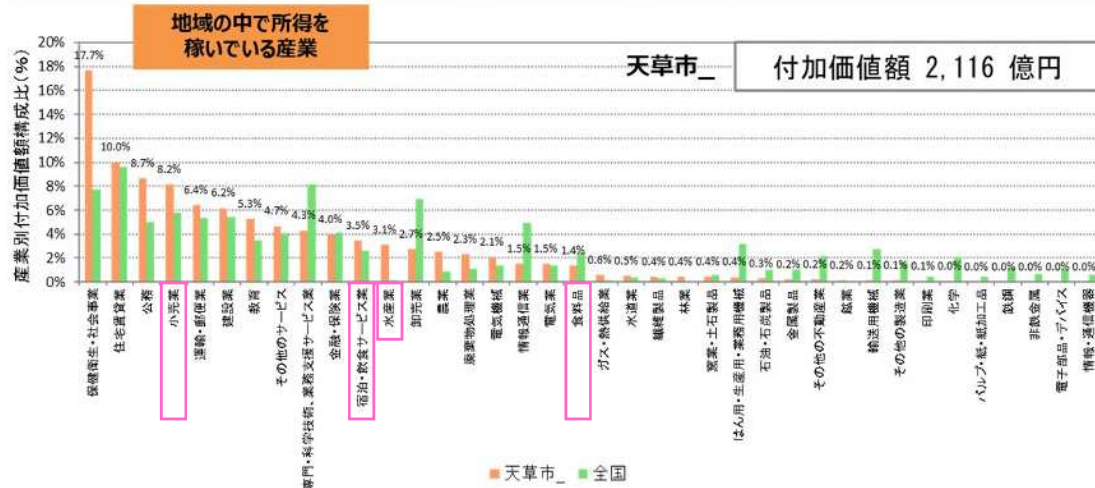
○天草市においては、水産業、小売業、宿泊・飲食サービス業に比較優位性があり、付加価値額構成比も比較的高い傾向にある。

産業別修正特化係数（生産額ベース）



・生産額ベースでの産業別修正特化係数で見ると、天草市は水産業に比較優位性がある。
また、小売業、宿泊・飲食サービス業についても1以上である（全国平均より高い）。

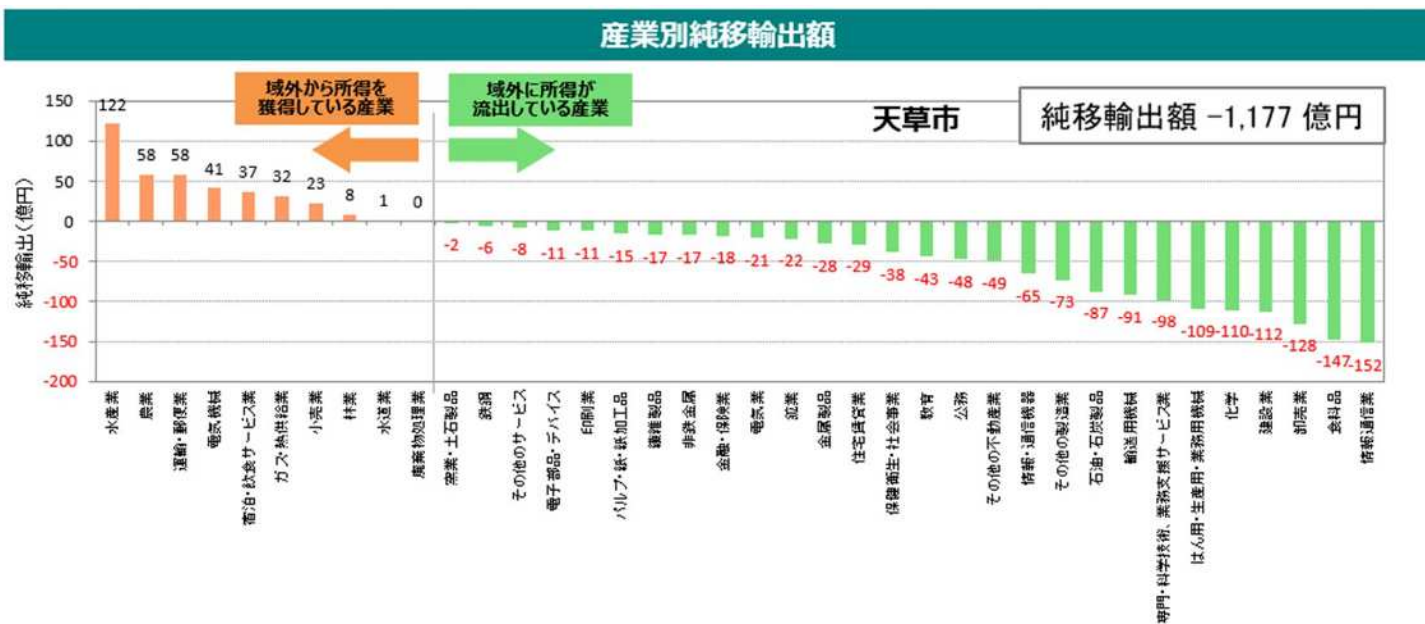
産業別付加価値額構成比



・産業別付加価値額構成比では、小売業8.2%、宿泊・飲食サービス業3.5%、水産業3.1%である。

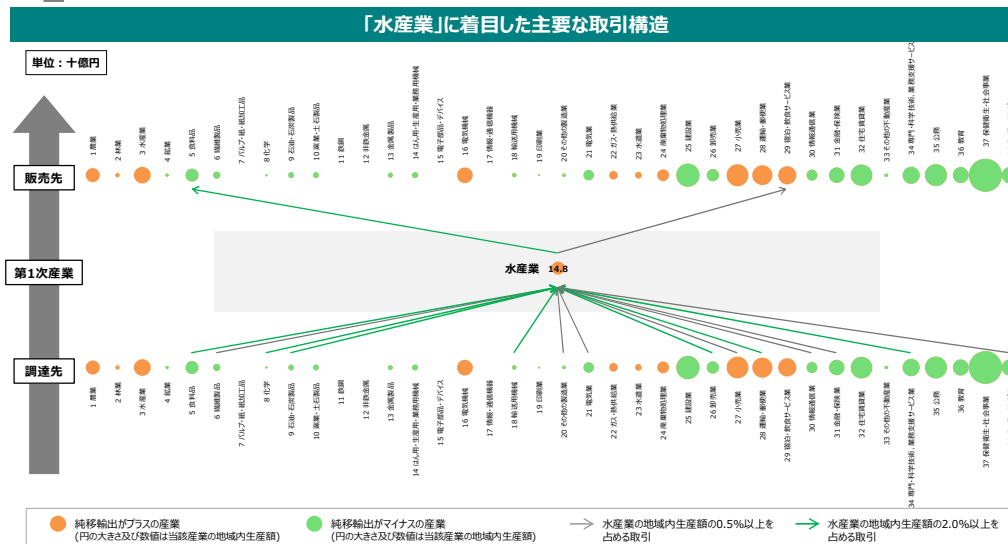
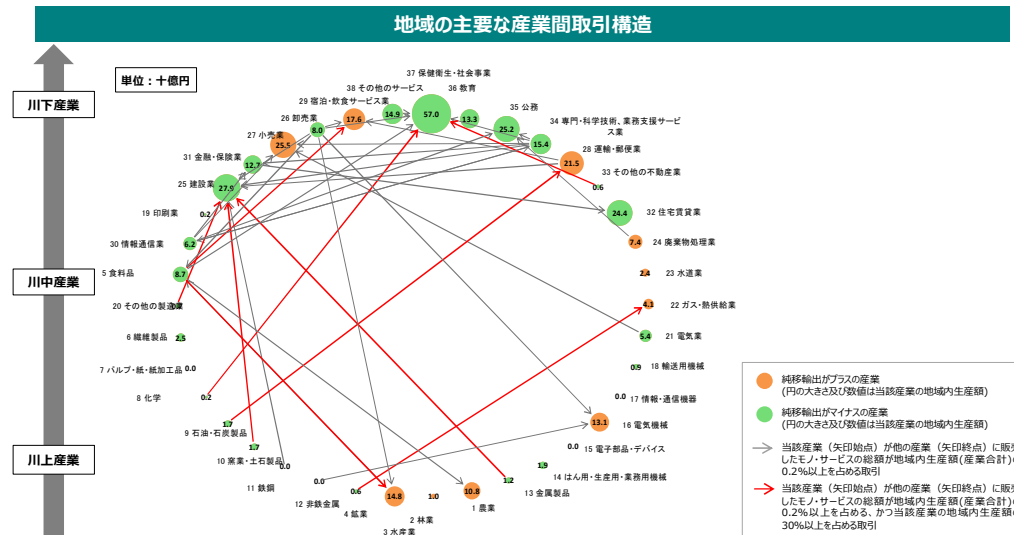
【地域経済】

- 域外から所得を獲得している産業は特に水産業であり、農業、運輸・郵便業、電気機械、宿泊・飲食サービス業、ガス・熱供給業等続く。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。



【地域経済】

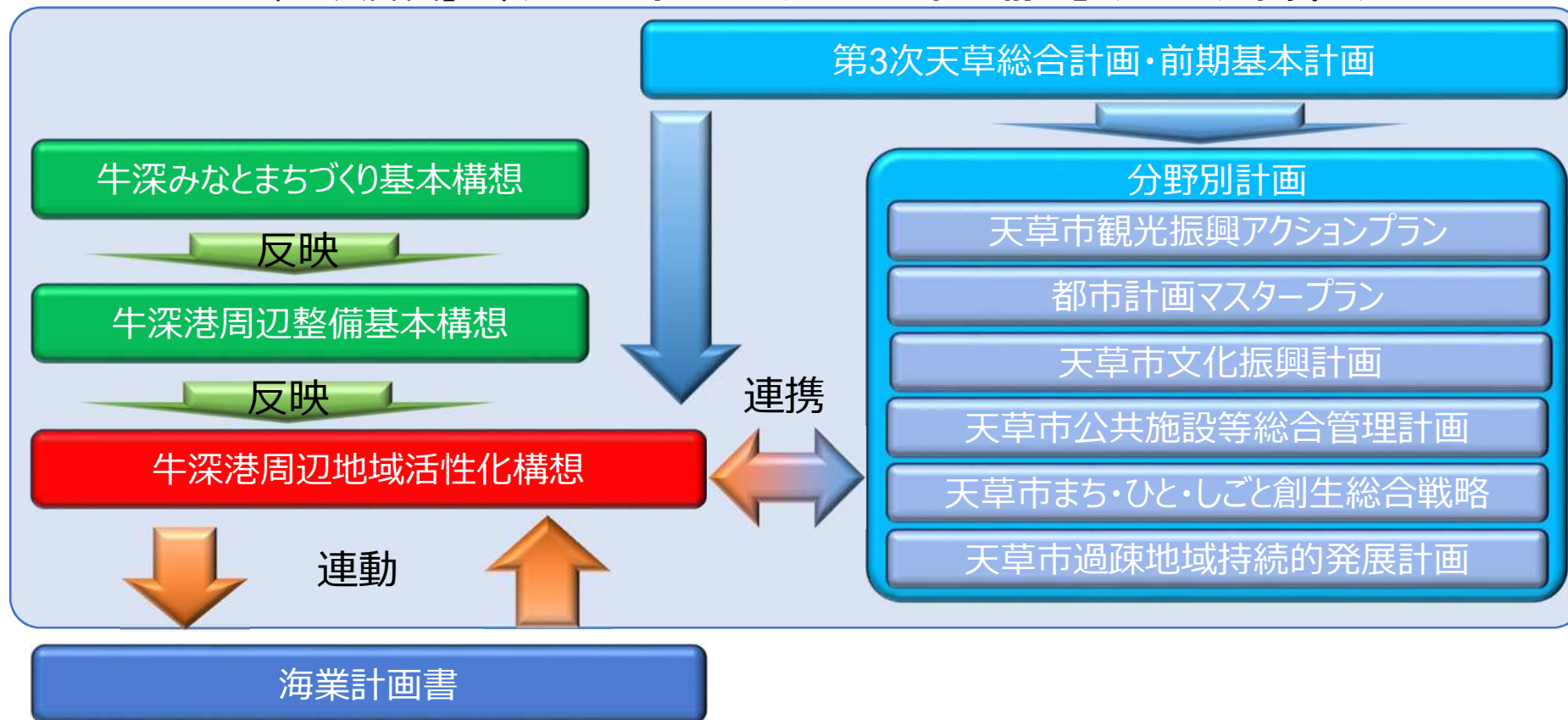
- 天草市の水産業の場合、食料品と卸売業から調達を行っており、特に食料品産業との取引が地域の経済規模に占める割合が大きい。
 - 水産業の純移輸出はプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。
- ⇒ 海業として、水産業、小売業、宿泊・飲食サービス業の展開可能性を検討する。



・「水産業」に着目した主要な取引構造に着目すると、天草市の水産業は生産額148億円である。また、小売業、運輸・郵便業からの調達が多く、宿泊・飲食サービス業への販売が多く、それらの産業の純移輸出はプラスとなっている。

牛深地域における海業計画書の位置づけ

○「第3次天草市総合計画」を上位計画とし、市民・議会等と対話を続け「牛深港周辺地域活性化構想」を策定。海業振興モデル事業では、牛深漁港の遊休化している漁港用地において、民間主導による水産関係の産業の新たなビジネスモデルの展開による水産事業者をはじめとした地域所得の向上と雇用機会の確保を目的とする「海業振興計画」を策定し、「牛深港周辺地域活性化構想」と連動した取り組みとする。



「牛深港周辺地域活性化構想」取り組み内容

- 牛深港周辺地域（旧漁協周辺）の再開発
- うしぶか海彩館の機能充実
- うしぶか公園、遠見山公園の魅力の開発・鬼塚地区緑地広場の整備
- 街並みの整備

海業の事業計画骨子【熊本県天草市 牛深漁港】 ①

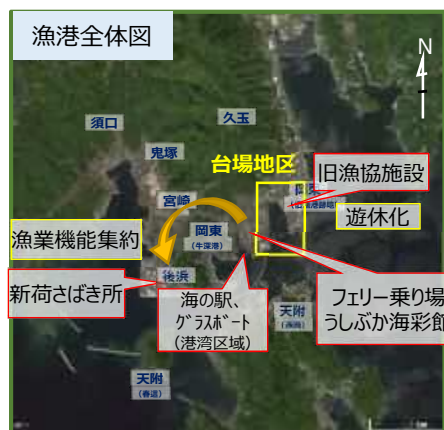
1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

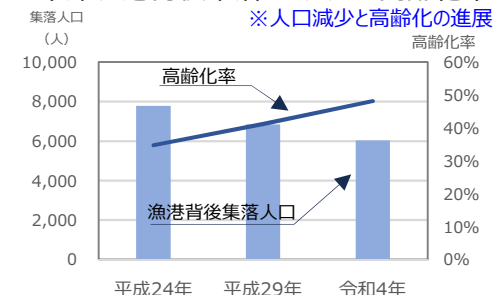
- 熊本県天草市の最南端に位置する牛深は、鹿児島方面から天草への**南の玄関口**。中世より中継寄港地として栄え、「牛深ハイヤ節」（ハイヤ系民謡の源流）が有名である。
- 豊富な海洋資源を背景に漁業の本拠地として発展、**県下最大の漁港**であるが、近年は漁獲量が減少し、**魚価向上**や漁家の**所得確保対策**が望まれている。

【海業の現状と課題】

- 水産関連産業等も衰退**し、**人口減少・高齢化**が進み、地域産業の活性化、地域住民の交流の場、雇用の創出が望まれている。
- フェリー発着所に道の駅「うしぶか海彩館」があり、魚食・漁業資料館・体験等が提供されているが、改修が必要な状況である。また、天草漁協牛深総合支所・青壮年部を中心に、缶詰等の水産物の商品開発等が進められている。
- 牛深の中心エリアである台場地区には、**機能移転後の旧漁協施設や遊休地**があり、有効活用による牛深港周辺の活性化が望まれている。



■牛深漁港背後集落¹⁾の人口と高齢化率

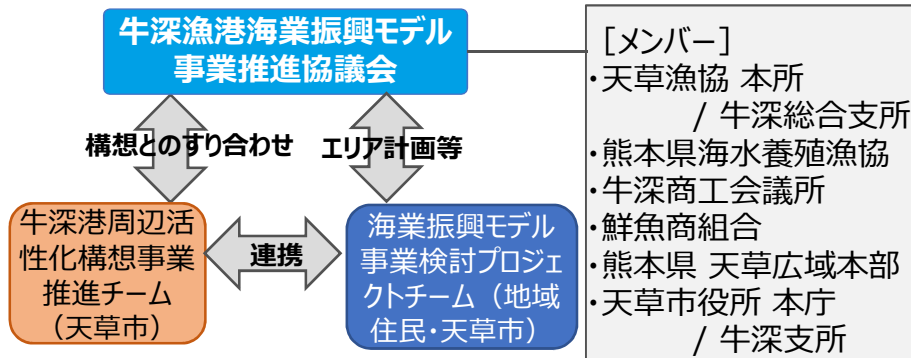


¹⁾漁港背後集落：漁港漁場整備法に指定された漁港の背後に位置する集落。牛深漁港に接する沿岸部の集落に相当する。

■牛深漁港の出荷先別配分比率



2. 検討体制



海業の事業計画骨子【熊本県天草市 牛深漁港】 ②

3. 海業の方針

水産業・牛深漁港を核として、県内外から観光客を呼び込むことで、賑わいを創出し、**魚価向上**や**所得確保**を図るとともに、受け皿としての**地域の担い手**を確保する

【取組】

- 直販、加工による牛深産水産物の付加価値向上
- 水産加工体験（雑節・干物等）や釣り等のアクティビティ創出
- 上記取組を後押しする漁港**遊休地を活用した拠点**（総合交流施設、体験スペース、飲食や直販等の新たな取組を促す**チャレンジスペース**、牛深の**水産業を学ぶ場**を確保、宿泊事業者等の企業を誘致する場を確保）の創出
- ※留意点 ・うしぶか海彩館等の既存施設との連携を図る ・既存の開発商品（缶詰等）の販売促進を図る

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①チャレンジスペース整備（天草市）

- ※運営は民間事業者 ※体験施設(セリ、魚捌き、加工など)
- ※コンテナ店舗やキッチンカー等で飲食提供や直売を実施（漁協青壮年部、民間事業者等）
- ※宿泊事業者の参入

【期待される効果】

- 域内での水産物消費拡大
- 漁業所得の向上
- 市内外からの交流人口増加による賑わいの創出
- 域内産業の活性化
- 地域の雇用の創出
- 地域の担い手の確保

②総合交流施設整備（天草市）

- ※地域住民の学習・交流・憩いの場
- ※水産業を学ぶ場 ※体験の実施は民間事業者

【期待される効果】

- 地域住民の交流の推進
- 水産業への理解増進
- 来訪者の滞在時間の増加
- 観光地としての魅力の増大
- チャレンジスペースへの人の流れを作る起爆剤

③ウォーキングロード整備（天草市等）

【期待される効果】

- 地域の回遊性の向上
- 観光客の滞在時間の増加
- 域内の消費の拡大

○実証試験の実施（チャレンジスペース完成までの期間）

・飲食・直売（漁協青壮年部）

・加工体験（加工業者）

- ※イベントへの出展
- ※アンケート等を実施
- ※チャレンジスペース出店準備

【期待される効果】

- 出店にむけた十分な準備
- 出店意欲の維持



事業計画書について

■ 事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要 等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業の ビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

■ 各事業の概要

① チャレンジスペース 出店スペースの提供（飲食・直売）

■ 事業の概要：

牛深産水産物の付加価値向上に向け、地域の事業者が牛深産水産物を使った直販や飲食の提供にチャレンジできるよう、**コンテナ店舗**や**キッチンカー**等で飲食提供や直売を実施できるチャレンジスペースを整備し、**出店希望者へ貸出**等を行う。**体験プログラム**の提供も可能とする。

■ 事業主体：

〔施設整備〕 天草市

〔施設運営管理〕 民間事業者（未定）

■ 実施時期： 令和10年頃に事業開始予定（中期）

※実証実験の実施：完成までの期間はイベントへの出店、その際のアンケート等の実施、商品開発等を行う。

■ 取扱商品：

牛深で飲食店や直売所を新規開業・新規展開したい事業者が、簡易的に出店できるスペース

■ 取扱商品、サービスのセールスポイント

平日も交流施設来訪者の利用が見込める。

漁港（水産物購入意欲増大への期待）

■ 販売ターゲット、見込事業者、販売戦略

ターゲット：天草市内の事業者

（漁協、一次産品生産者、加工業者等）

見込事業者：漁協、水産関係事業者等

地区内4業者程度

販売戦略：市内での公募、見込事業者への直接案内

■ 競合・市場など企業を取り巻く状況：

地区内に同様のスペースは少なく、交流施設との相乗効果が期待できる。

チャレンジスペース 出店スペースの提供（企業誘致）

■ 取扱商品、サービスの内容と価格

牛深で宿泊施設を開業・新規展開したい事業者に用地を貸し付け、民間事業者の投資を促し、地域に賑わいを創出し、地域の雇用を増大させることを目的とする。
なお、用地占用料等は漁港管理条例によるものとする。

■ 取扱商品、サービスのセールスポイント

フェリー乗り場から近く交通アクセスが良い。

海のすぐ近くであり、景観が良い場所である。

■ 販売ターゲット、見込事業者、販売戦略

ターゲット：宿泊業者

見込事業者：（現時点では特になし）

販売戦略：公募

■ 競合・市場など企業を取り巻く状況

牛深地区に宿泊施設は少ないが、天草地区には下田温泉があり、宿泊施設が集積している。

■各事業の概要

②総合交流施設整備事業

■事業の概要：

「牛深港周辺地域活性化構想」でも位置づけられている牛深地域の新たな交流拠点では幅広い年代の住民が集うことが想定されているが、さらに、来訪者が現在の牛深の水産業を学び、体験できる機能を加えることで、来訪者と地域住民の交流を促進させる。また、水産業を中心とした外国人職員の増加に伴い、牛深地域に居住する外国籍の方々への日本語の学びの場を通じたコミュニティの醸成を行い、地域産業の維持を行う。

■事業主体：

〔施設整備〕 天草市

〔施設運営管理〕 天草市（PPP/PFIの手法検討も含め）

■実施時期： 令和10年頃に事業開始予定（中期）

■施設内容

交流スペース：フリースペース（カフェ等）、会議室等多目的スペース

子供の遊び場

図書スペース

学びを楽しむ場 等

屋外スペース：テラス、芝生広場、駐車場等

③ウォーキングロード整備事業

■事業の概要：

チャレンジスペース、総合交流施設、うしぶか海彩館を結ぶ動線を確認し、牛深漁港周辺エリア全体を通じた回遊性を向上させる。

■事業主体：

〔施設整備〕 天草市（岸壁嵩上げ等は漁港管理者）、

〔施設管理〕 天草市

■実施時期： 令和10年頃に事業開始予定（中期）

④釣りけす整備事業

■事業の概要：

牛深で盛んである本格的な釣りとは別に、ファミリー層が気軽に釣りを楽しめる機能を取り入れることで、牛深での活動メニューを増やし、来訪者の滞在時間増加につなげる。

■事業主体：

〔施設整備〕 天草市、民間事業者等

〔施設管理〕 天草市、民間事業者等

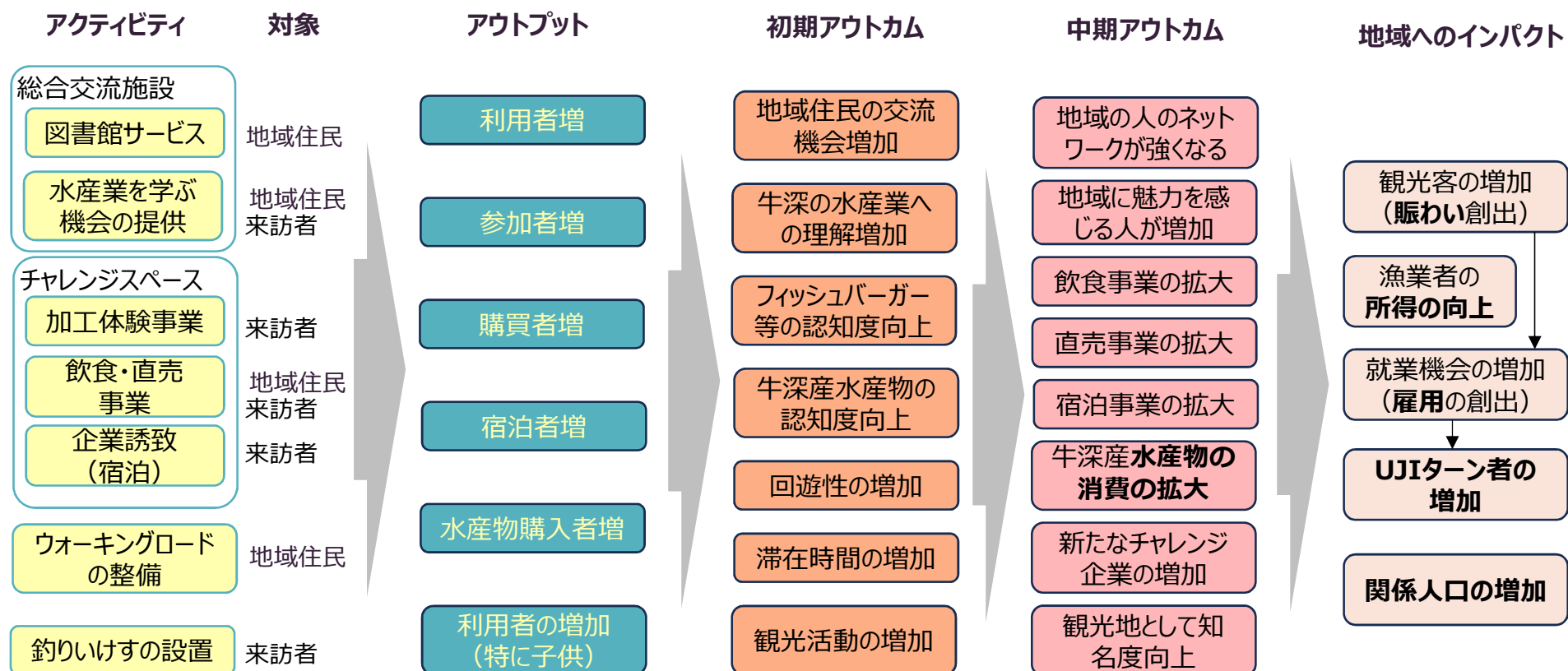
■実施時期： 令和10年以降に事業開始予定（中期）

※漁港管理者（熊本県）等との協議が必要

■事業の効果例（R5時点 想定例）

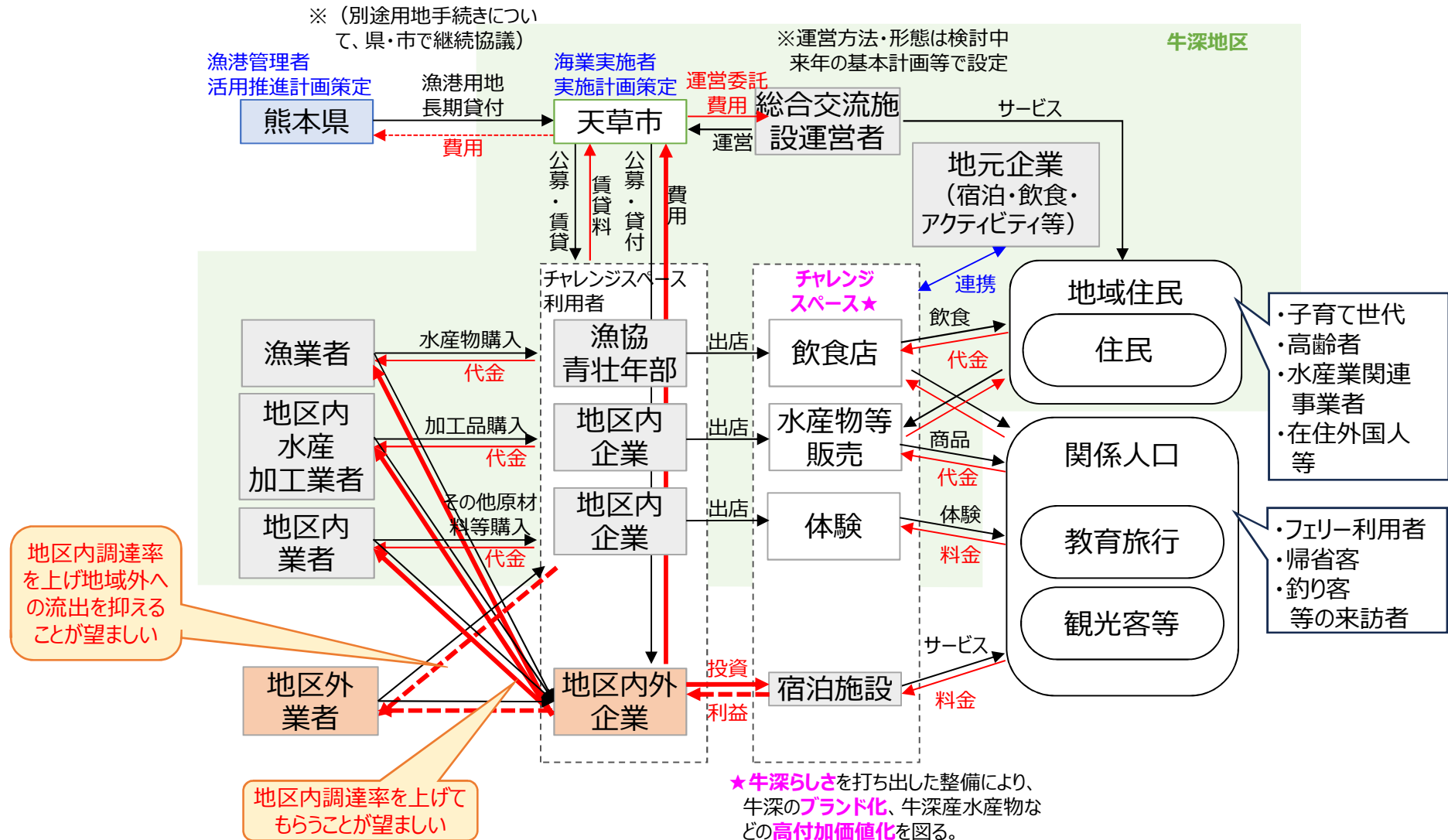
項目	効果
① 地域人口の維持・増大	・牛深地区に賑わいをつくり、雇用の場を創出するなど所得確保を図ることで地域人口維持に貢献。
② 交流人口・関係人口の増大	交流人口として以下を想定する。 ・企業誘致（宿泊） 約2万人 ※宿泊率が現状の2倍にアップすることを想定（宿泊者数 2万人 ※H29時点） ・飲食・直売 合計 6.9万人 ※地域住民：総合交流施設利用者数の約半数＋うしぶか海彩館レジ通過者の約 2 割 ・体験 年間 2.8万人 ※牛深地域で開催されるイベントの2割＋教育旅行：年間2校300人目標
③ 水産物消費拡大	・チャレンジスペース事業の飲食や直販等の新たな取組による水産物消費増を期待 ・水産加工体験（雑節・干物等）による水産物消費増を期待 ・牛深の水産物を学ぶ場を創出し、牛深産水産物のファン獲得による購入増を期待
④ 海業消費額の増大	・釣りいけす整備事業による養殖魚の新たな消費増を期待
⑤ 海業実施企業の売上増大	【チャレンジスペース事業】 ・直売所・飲食：約 1.3億円 ※1人あたり直売所1,100円・飲食800円を想定 ・体験：約5,500万円 ※1人あたり2,000円を想定 ・企業誘致（宿泊）：約2.5億円 ※1人あたり1泊1.25万円、2万人の新規宿泊者増を目標に想定 【釣りいけす整備事業】：約2200万円 ※1人あたり4,000円、海彩館レジ通過者の5%を想定 計 約4.5億円
⑥ 地域内調達の増大	・チャレンジスペース事業（直売所、飲食店、体験等）、釣りいけす整備事業における地域内水産物調達
⑦ 雇用の増大	【チャレンジスペース事業】 ・出店スペースの管理者：1人 ・直売所・飲食：6人 ・企業誘致（宿泊）：40人
⑧ 地域の産業の振興	・チャレンジスペース事業により牛深産水産物を活用した事業の参入を容易にし、地域の水産物の振興に繋げていく 例）直売等で既存の開発商品（缶詰等）の販売促進、飲食店で牛深産水産物活用による水産振興、等 参考）観光消費額（熊本県観光統計）旅行単価×R10目標見込客数 日帰り：7,240円×96,986名=約 7 億円、宿 泊：33,863円×96,986名=約 3 2 億円
⑨ 後継者確保	・牛深地区に賑わいをつくり、雇用の場を創出するなど所得確保を図ることで収入安定化を目指し、後継者確保に繋げる。

■事業の効果（ロジックモデル）



■ 海業の関係主体間の経済関係（R5時点 想定例）

チャレンジスペース事業・ 総合交流施設整備事業



海業計画 スケジュール（案）

事業名	実現までの実施事項		実施時期					
	実施項目	実施主体	短期					中期
			R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
事業実施に必要となる計画の策定	牛深漁港活用推進計画の策定	熊本県						
	漁港施設用地等利用計画の策定	熊本県						
	総合交流施設等基本計画策定	天草市						
	漁港活用の実施計画の策定	天草市						
チャレンジスペース事業	実証試験	民間事業者						
	地区内のニーズ調査	天草市						
	計画・設計・施工	天草市						
	公募準備・公募・選定・契約	天草市						★順次
	運用開始	民間事業者						
牛深地域総合交流施設事業	漁協施設解体・用地整備	天草市						
	基本計画・基本設計・実施設計	天草市						
	整備	天草市						
	運用開始	天草市						
ウォーキングロード整備事業	基本設計・実施設計・施工	天草市						
	整備	天草市						★共用開始
釣りいけす整備事業	整備	民間事業者						★開業予定
	運用開始	民間事業者						